

こころ、はずむ、おいしさ。

エバラ

News Release

2022年3月11日

エバラ食品工業株式会社

マイナビ×短期大学の産学連携プロジェクト 「プチッと鍋で家族にサプライズ！～MEMORIES OF COOKING～」に協力 短大生が家族へ「プチッとサプライズ」、心温まるムービーを公開

エバラ食品工業株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：森村 剛士）は、株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：土屋芳明、以下マイナビ）が主催する、短大ならではの魅力を発掘する産学連携プロジェクト「プチッと鍋で家族にサプライズ！～MEMORIES OF COOKING～」(実施期間：2021年10月～2022年3月)に協力いたしました。栄養学やライフデザインを学べる全国の短期大学4校（戸板女子短期大学（東京都港区）／京都光華女子大学短期大学部（京都府京都市）／香蘭女子短期大学（福岡県福岡市）／新渡戸文化短期大学（東京都中野区））が参加しました。



当社では、コロナ禍で“家庭”での食シーンが増えるなか、今一度“共食・団らん食”の楽しさなどを伝えていきたいという思いから、今回の企画に賛同しました。マイナビ・短期大学4校・エバラ食品が協力して開催した本企画は、「プチッとサプライズ」をテーマに、全国の短大生が「プチッと鍋」を使ったオリジナルの鍋料理を作り、大切な家族に普段なかなか言葉にできない感謝の気持ちをサプライズ形式で伝えるというものです。参加者は栄養学やライフデザインを学ぶ短大生。日頃の学びを生かし、「プチッと鍋」を使用したレシピを開発していただきました。花束をイメージして豚肉を巻いたり、野菜をハートや星の形に型抜きして彩ったり、家族の好みの食材を入れたり短大生ならではのアイデアで唯一無二の鍋料理が完成しました。

3月1日（火）より、「マイナビ進学」の特設サイト（<https://petit-surprise.com/>）では、短大生から家族へのサプライズの様子を動画で公開しています。料理に奮闘する短大生や、手料理を食べた時のうれしそうな表情、家族ならではの温かいやり取りなどにご注目ください。

エバラ食品は「こころ、はずむ、おいしさ。」を提供し、鍋料理の可能性を広げ、鍋を通年の家庭料理にしてみたいです。

本件に関するお問い合わせ

■ 報道関係の方のお問い合わせ

エバラ食品工業株式会社 コミュニケーション部 広報 IR 課

TEL 045-226-0234 / FAX 045-650-9025 / ALL_KOUHOU@ebarafoods.co.jp

■ お客様のお問い合わせ

エバラ食品工業株式会社 お客様相談室 TEL 0120-892-970（フリーダイヤル）

戸板女子短期大学 食物栄養科 1年 佐々木美南さん



撮影日はお母さんの誕生日。お祝いと感謝の気持ちを込めて鍋の具材はバラの花束をイメージ。「プチッと鍋 寄せ鍋」を使用し、プレゼントボックスに見立てた寄せ鍋と、残った野菜で炒めるシメのペペロンチーノを作りました。

京都光華女子大学短期大学部 ライフデザイン学科 1年 北野なつめさん

仕事を3つ掛け持ちしていつも大忙しのお母さんはごはんとお酒が大好き。大学で友人たちと綿密に準備して、お母さんの好物のタラをふんだんに使った鍋（「プチッと鍋 寄せ鍋」使用）とお酒のアテ（「プチッと鍋 あさりとホタテの旨塩鍋」使用）を作りました。日頃の疲れた心と体を癒してもらいました！



香蘭女子短期大学 ライフプランニング総合学科 1年 歌枕咲希さん・岩崎藍さん・下境田美羽さん



大切な両親に大学で学んだことを伝えるため、友人たちと力を合わせて作りました。「プチッと鍋 担々ごま鍋」を使用し、見た目と味の両方にこだわったボリュームたっぷりの旨辛鍋です。

新渡戸文化短期大学 食物栄養学科 2年 宮野七春さん

大好きなお母さんとおばあちゃんに日頃の感謝を込めて、仲良しの弟と楽しみながら「プチッと鍋 寄せ鍋」を使用した餃子鍋を作りました。油揚げの巾着に包んだ餃子のあんには「プチッと鍋 あさりとホタテの旨塩鍋」を使用し、ボリュームもサプライズも倍増！



■ 「プチッと鍋」シリーズ商品情報

「プチッと鍋」シリーズは、1人で食べるお手軽鍋から家族で食べるごちそう鍋まで、人数や好みに合わせて鍋を楽しむことができる“1個で1人分の鍋の素”です。1人分ずつポーション容器に入っているので、いつでも開けたてのおいしさをお楽しみいただけます。春夏は5品のラインアップとなっています。



寄せ鍋



キムチ鍋



ちゃんこ鍋



あさりとホタテの旨塩鍋



担々ごま鍋